

大塚マシジド 金曜日礼拝ホトバ 要約

(2024年05月17日)

心が清く善良であるよう努めなさい

あらゆる賞賛は、**アッラー**のもの。**アッラー**でなくして、人々が崇拜するものは存在せず、**アッラー**には、共同者はないことを証言する。また、**ムハムマド**は、**アッラー**のしもべであり、使徒であることを証言する。

信者たちよ。**アッラー**を畏れる者、即ち、**イスラーム**信仰がしっかりした信者は、立派な心を持ち、気品があり、言葉遣いが美しく、品行が良いという特性を有するものである。

アッラーは、**クルアーン・蜜蜂章**において述べておられる。

「お前たち、敬虔な信者たちよ。**アッラー**を畏れなさい。明日のために何をしたか。各自考えなさい。**アッラー**を畏れなさい。誠、**アッラー**は、お前たちの行うことを良く御存知であられる。」(59章 18節)

クルアーンの中には、立派な心というものが如何なるものかが述べられている。**預言者さま SAW**は、「誠に、**アッラー**は、善良であられ、善良であるもののみを受け入れられる。」と述べておられる。ここで、純粋で善良な心によっておこる善良というものについて言えば、他人に対する敵意や妬みを持たないように努め、自分に起こってほしい幸せを他人にも起こってほしいと願うような、そうしたものである。**預言者さま SAW**は、「最善の人とは、信頼され、品行が良い人のことである。」と述べておられる。

アッラーは、**クルアーン・御光章**において述べておられる。

「…**アッラー**から祝福された良い挨拶の言葉で、人びとに挨拶しなさい。このように**アッラー**は、お前たちのために印を解き明かされる。…」(24章 61節)

更には、良い言葉遣いで親切を心がけなさい。また、合法的な良い食べ物を求め、良い行いを心がけなさい。

アッラーは、**クルアーン・雌牛章**において述べておられる。

「人々よ。地上にあるものの良い合法的なものを食べよ。…」(2章 168節)

そして、稼いだものから、惜しみなく施しなさい。

アッラーは、**クルアーン・雌牛章**において述べておられる。

「…お前たちが働いて得た良いものと、**われ**が大地からお前たちの為に生み出すものを惜しまず施しなさい。…」(2章 267節)

誰かを傷つけたり、不公平に扱うことなく、(施しによって)自分を清めるように努めなさい。

信者たちよ。**アッラー**は、善良な心の人には、大きな報償、即ち、素晴らしい住処を御用意なされる。

アッラーは、**クルアーン・蜜蜂章**において述べておられる。



大塚マスジド 金曜日礼拝ホトバ 要約

(2024年05月17日)

心が清く善良であるよう努めなさい

「誰でも善い行いの敬虔な信者なら、男でも女でもわれは、きっと幸せな生活を送らせる…」(16章97節)

日々善良な生活に努める信者へのアッラーからの報償は、誠に良いもの、永遠の良いものである。

アッラーは、クルアーン・悔悟章において述べておられる。

「アッラーは、男の信者にも女の信者にも、川が永遠に下を流れる楽園に住むことを約束された。また、永遠 [アドン] の園の中の立派な館をも。だが、最も偉大なものは、アッラーの御悦びである。それを得ることは、至上の幸福の成就である。」(9章 72節)

現世で良い行いに努める者でありますように。善良な者でありますように。心が清く他の人々に役立つ者でありますように。

預言者ムハムマド、教友とその一家に祝福と平安がありますように。そして、正当なカリフ、アブーバクル師、ウマール師、ウスマーン師、アリー師と、正しい道に従う者たちに、祝福と平安がありますように。

アッラーよ。心が清く善良で、他の人々に役立つ者であるように、御導き下さい。

アッラーよ。あなたさまを愛し、預言者さま SAW を愛する者であるように、御導き下さい。

アッラーよ、何時でもあなたさまを顧みて感謝し、満足を知る者であるように御導き下さい。

アッラーよ、私たちの信仰心を強くして下さい。私たちの過ちを御赦し下さい。

アッラーよ。日々の生活に活力と喜びを、そして安心と安全を御与え下さい。アーミーーン

